

原子力規制委員会委員長

田中 俊一 様

公開質問状への再度の詳細回答のお願い

昨日は私たちの提出した「高浜3・4号と大飯3・4号に則した耐専スペクトルと断層モデルによる地震動評価に関する公開質問状」(2014年3月5日付)および「川内1・2号の地震動評価に関する追加質問」(2014年3月17日付)への回答者として、原子力規制庁安全規制管理監付企画調査官および同企画係長を派遣して頂き、有り難うございました。しかし、私たちが公開質問状で具体的に質問しているにもかかわらず、その回答は下記の通り、余りにも抽象的で具体性に欠けるものであり、「審査会合で確認するから文句を言わない」という姿勢に満ちていました。この回答について原子力規制委員会の決済を受けているのかを確認したところ、「回答は事務方に一任されている」とのことで、貴職や規制委員には知らされておらず、了承も得ていないようです。

そこで、いくつかの点で具体的に質疑を行ったところ、上記回答者は、原子力安全委員会の作業部会で耐専スペクトルの適用性について検討していたことをご存じなく、鳥取県西部地震における震源近傍の賀祥ダムでの観測記録に対しても耐専スペクトルが適用可能であることを確認していたことをご存じありませんでした。また、断層モデルによる地震規模と松田式による地震規模が異なる理由についても熟知しておられず、原子力安全委員会の作業部会で、宍道断層の断層モデルにおいて地震規模を松田式に合わせて応力降下量を大きくした地震動解析を行っており、その結果は耐専スペクトルに一致するという事実についてもご存じありませんでした。川内1・2号の断層モデルによる地震動評価結果が耐専スペクトルの1/2~1/3に過小評価されていることについて、M6クラスの未飽和断層で得たアスペリティ平均応力降下量をM7クラスの飽和断層にそのまま用いた結果であり、アスペリティ面積が断層面積の36.5%というおよそあり得ない異常値になっているという指摘に対しても反論できませんでした。さらに、地震調査研究推進本部による福岡県西方沖地震の波形インバージョン結果とレシピによる断層モデルには大きな差があること、「おおむね再現できる」という意味についても理解が不十分であることが明らかになりました。地震調査研究推進本部が警固断層の強震動評価で「松田式による地震規模を断層モデルの地震規模とし、断層モデルの長さや幅をそれに合わせて調整する」という修正レシピを適用していることについてもご存じありませんでした。私たちは決して回答者に対して個人攻撃をしているわけではありません。下記の回答は原子力規制庁の中で検討されたと伺っており、組織としての認識の問題だと受け止めています。

原子力発電所の地震動評価で用いられている耐専スペクトルおよび断層モデルについて、基本的な点で十分理解しておられない(と思われる)原子力規制庁が事務局となり、原子力規制委員会で再稼働に向けた審査が進められているという実態を眼前にして、私たちは強い驚愕と戦慄を覚えざるを得ません。

そこで、貴職に改めてお願いします。私たちの公開質問状に具体的に回答できる方に再度、回答させてください。齟齬のないよう、上記の回答者にも同席して頂き、耐専スペクトルや断層モデルについて具体的に責任を持って回答できる方、「審査会合での確認」の内容と根拠を説明できる方に出席して頂き、私たちに再度丁寧に説明して頂きたく存じます。本件については、上記回答者にも依頼し、「持ち帰って検討する」と約束して頂いております。とくに、川内1・2号が審査書案の作成段階に入っていることから、「審査書案が完成されるまでに2回目の回答を行って頂く」ように依頼しており、これを含めて持ち帰って検討して頂くことになっていきます。

この問題は原子力規制庁の問題ではなく、原子力規制委員会としての審査のレベルに関わる問題であり、

審査の質に重大な疑義が出されているものとご認識ください。川内1・2号の審査書案が今月中に作成されると報道されていますので、3月31日に、私たちの上記公開質問状に対し、原子力規制委員会としての責任ある再回答を改めて頂きたいと、強く要請いたします。

＜原子力規制委員会原子力規制庁による回答全文＞

質問1(高浜3・4号における地震動評価について)

- (1)への回答:基準地震動の評価は、審査において、応答スペクトルによる手法と断層モデルによる手法が適切に用いられていることを確認している。
- (2)への回答:耐専スペクトルと断層モデルの地震動評価結果の大小関係は地点ごとに異なっており、両手法で評価すれば問題ないと考えております。
- (3)(4)への回答:地震調査研究推進本部は強震動評価手法の検証を行い、福岡県西方沖地震や鳥取県西部地震等の観測記録がおおむね再現できることを確認している。
- (5)への回答:FO-A～FO-B、熊川断層の断層パラメータが適切に設定されているかどうかを審査会合で確認しているところです。
- (6)への回答:耐専スペクトルは地震動の規模に応じて適用できる等価震源距離の範囲が定められており、適用範囲を超えるものであれば、審査において適用可能な他の距離減衰式により評価している。
- (7)への回答:基準地震動の評価は適用可能な距離減衰式と断層モデルを用いており、その妥当性は審査会合で確認します。

質問2(大飯3・4号における地震動評価について)

- (1)への回答:大飯3・4号におけるFO-A～FO-B、熊川等の連動の地震動評価は適用可能な距離減衰式と断層モデルを用いており、その妥当性は審査会合で確認する。
- (2)への回答:賀祥ダムの評価結果は承知していないが、FO-A～FO-B、熊川の連動評価はその等価震源距離が敷地に近いことから耐専スペクトルの適用範囲外であると考えられます。

追加質問(川内1・2号の地震動評価)

- 1への回答:耐専スペクトルと断層モデルの地震動評価結果の大小関係は地点ごとに異なっており、両手法で評価すれば問題ないと考えてございます。
- 2と3への回答:地震動評価は適用可能な距離減衰式と断層モデルを用いて評価しており、その妥当性は審査会合で確認する。

以上

呼びかけ団体:

原子力発電に反対する福井県民会議、サヨナラ原発福井ネットワーク、原子力資料情報室、若狭連帯行動ネットワーク(事務局担当)

賛同団体・個人:

(2014.3.19現在 78団体、365個人)

[北海道] 山内恵子、林正樹

[青森] 核燃サイクル阻止一万人訴訟原告団、浅石紘爾

[福島] 双葉地方原発反対同盟、社民党福島県連合、石丸小四郎、佐藤龍彦

[宮城] みやぎ脱原発・風の会、舘脇章宏、篠原弘

典

[新潟] 柏崎原発反対刈羽村を守る会、脱原発をめざす新潟市民フォーラム、中村哲也、武本和幸

[東京] すなめりの会、原子力資料情報室、日本消費者連盟反原発部会、ふえみん婦人民主クラブ、安達由起、斉藤美智子、山口泰子、伴 英幸、西尾漢、松久保肇、谷村暢子、吉岡香織、松井芳子、樋山節子、山本晶子、湯浅欽史、小川幸子、島京子
[神奈川] 小沼智子、岡村孝子、下山久美子、熊坂兌子

[千葉] 魚住公成

[茨城] 反原子力茨城共同行動、根本がん

[埼玉] 細谷 孝、野口久枝、稲月 隆

[静岡] 東京電力と共に脱原発をめざす会、原発震災を防ぐ風下の会、太田川ダム研究会、なくそう浜岡原発天竜の会、小池泰子、堀 考信、粕谷たか子、西原幸子、東井 怜、古浦勝久、長野栄一、塩崎恵子、落合明夫、下山久美子、岡本 尚

[長野] 伊藤 順、西村悦子

[愛知] 核のごみキャンペーン・中部、安楽知子、岡田雅宏、吉川 守、村上鐘清

[富山] 川原登喜の

[石川] 志賀原発を廃炉に！訴訟原告団、原発震災を案じる石川県民、北野 進、堂下健一、岩淵正明、中田博繁、奥村回、橋本明夫、北尾美帆、川本藏石、川本 樹、中垣たか子

[福井] 原子力発電に反対する福井県民会議、サヨナラ原発福井ネットワーク、株式会社森と暮らすどんぐり倶楽部、石地 優、松下照幸、山崎隆敏、田代牧夫、中嶋多恵子、若泉政人、石森修一郎、笠原一浩、芦野順介、大西真治、宮川和子

[京都] 京都原発研究会、山田耕作、尾崎一彦、吉武仁貞、田中康司、田中順子、大津定美

[滋賀] 滋賀県放射性チップを告発する会、池野正治、西村廣宣、白永昇次、下村俊彦、更家周子、宮地英紀

[大阪] 科学技術問題研究会、労働組合なにわユニオン、ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン、どこまでも9条の会、大阪此花発！STOPがれき 近畿ネットワーク、全日本港湾労働組合関西地方大阪支

部、平和と民主主義をめざす全国交歓会、ストップ・ザ・もんじゅ、福島の子どもたちを放射能から守ろう・関西、原発ゼロ上牧行動、STOP原子力★関電包囲行動、みらくる∞未来を創るにんげんアクション、9条改憲阻止共同行動、ヒバク反対キャンペーン、若狭連帯行動ネットワーク、地球救出アクション97、チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西、子どもたちを放射能から守る大阪ネットワーク、国際女性年連帯委員会、風を起こす女の会、大阪東南フォーラム平和・人権・環境、環境フォーラム市民の会(豊中)、日本消費者連盟関西グループ、小西妙子、高井千彰、小川亮、色見勝徳、白木原雄、乾 清之、戸田寛、戸田 剛、田辺秀作、寺西久雄、松野尾かおる、高橋もと子、中井かをり、前田由隆、長沢啓行、長沢由美、久保きよ子、久保良夫、定森和枝、山崎清、稲岡美奈子、稲岡宏蔵、猪又雅子、原 三郎、三田宜充、三田恭子、金澤知成、黒石昌朗、太田陽子、森田悦子、曾我部玲子、中野陽子、須波あゆみ、柳内ちよ子、花立和代、足立須香、山口直子、立花善子、陰山みどり、八瀬宗子、高木永貢子、上松治美、桃田恵子、寺西久子、中井久子、中井のどか、北川芳美、野澤八千代、田中一成、木村英生、山本ゆき、木村洋子、康 由美、長澤民衣、富士野佐和子、大山裕喜子、山本次子、陶山喜代子、岸上知三、中沢浩二、中山一郎、服部良一、中澤和子、三好龍孝、荒木淳子、土代 武、出来秀人、堀田雅代、松尾哲郎、山田 肇、瀧石雄介、中野晴久、平見 毅、山本光子、松尾和子、奥村剛子、重松信子、林田 史、春木博美、中野正史、門林洋子、山崎憲成、坂元千賀子、遠藤慎夫、北阪英一、疋田真紀、鎮西節子、山本英子、東野セツ、木下佳子、松永節、松本郁夫、鴨井憲雄、鎌橋照子、三輪佳子、胡桃沢伸、永田洋子、相川直美、杉村尚子、石川豊子、福井 浩、山下慶喜、房本晃、三上一子、秋山佳世、宗博文、春日直樹、黒石昌朗、川嶋澄夫、山口喜彦、古橋雅夫、増田直美、黒河内繁美、黒河内正行、山崎一典、衛藤ますみ、田中徹、仰木 明、堀本フミ子、永久睦子、鈴木隆史、大森正子、難波希美子、水野和子、牛田 等、向井千晃、畑章夫、増田京子、鈴木くみ子、滝沢厚子、山

口光枝、森本良子、松田耕典、大伴一人、杉村ルミ子、池田春海、大野ひろ子、八木 稔、平松誠司、平松重美、藤谷卓志、藤谷悦子、竹本明代、武慎太郎、美佐田和之、平尾貞之、若本洋子、花木弘子、森 由子、森 賀代、今木誠造、富田洋香、富田茂樹、稗田 滋、大石恵子、田中たけよし、吉田美恵子、野口たい子、高木宏子、鈴木めぐみ、林田史

[兵庫] 原発の危険性を考える宝塚の会、さよならウラン連絡会、安全食品連絡会、鈴蘭台食品公害セミナー、現代を問う会、神戸YWCA平和活動部、さよなら原発神戸アクション、建部 暹、喜岡笙子、北川れん子、喜多康夫、高橋智子、竹本衣江、富樫 章、振津かつみ、中川慶子、奥田 亮、北田万寿夫、田中章子、井上正弘、稲垣清美、辰野淳子、山崎昌子、梶原義行、中井 忠、森 妙子、小林まゆみ、津村富代、寺西 清、味村良雄、北川 諭、小谷美智子、立間節子、石田加代、中村雅子、板垣正行、中原一栄

[奈良] 奈良脱原発ネットワーク、反原発奈良教職員の会、さよなら原発北葛の会、さようなら原發生駒、川崎寛子、田中正和、岩佐元春、梅谷敦子、加藤義明、金丸知佳、井上智絵、三宅恵子、野澤七雄、足立嘉代子、菅原紘美、松尾富雄、榎本恭一郎、旭 幸美、平岡敏幸、野口夏紀、山本万知、窪田義廣、中村優衣、山口花織、西林紗紀、大川雅博、辻和将、篠原章二、村橋香美、坂下智子、若松未来、橋本 繁、保浦公夫、堀田美恵子、住吉純子、中西克至、上島 博、二階堂裕之、保浦公夫、平岡敏幸、熊谷千栄子、見田暎子

[和歌山] 寺井拓也、内海洋一、田中美津子、上平正子

[島根] 島根原発増設反対運動、島根原子力発電所3号機の運転をやめさせる訴訟の会、芦原康江、阪本 清

[岡山] 小林秀朗

[広島] ヒロシマ・エネルギー・環境研究室、原発はごめんだ！ヒロシマ市民の会、木原省治、溝田一成、脊尾昌弘

[山口] 原発いらん！山口ネットワーク、三浦翠、小

畑太作

[愛媛] 阿部悦子と市民の広場、原発さよなら四国ネットワーク、原発さよならえひめネットワーク、原発なしで暮らしたい松山の会、愛媛の活断層と防災を学ぶ会、放射能を憂慮する市民の会、農薬空中散布に反対する会、愛媛環境ネットワーク、伊方原発反対八西連絡協議会、八幡浜・原発から子供達を守る女の会、伊方原発をとめる会、阿部悦子、小倉 正、垂水正和、垂水栄子、近藤 誠、大野恭子、渡部伸二、古茂田知子、土居立子、大本光子、井出久司、松尾京子、谷口博徳、斉間淳子

[高知] 植村和暢、植村厚子

[鹿児島] 川内原発建設反対連絡協議会、川内つゆくさ会、まちづくり県民会議、川内原発活断層研究会、荒武重信、有馬和子、安藤成子、小川 彰、小川美沙子、川畑一勝、北島清仁、小藺元子、小原治代、城 眞理、城下義博、嶽釜百合子、田中ひろみ、佃美喜子、外山一正、堂免明子、鳥原禧一、鳥原良子、鳥原雅子、中俣貞子、馬場園征子、福丸のり子、堀之内しおり、松田勝美、松田良子、松山喜美子、三園敏則、武藤智子、村田明子、森永明子、山下勝次、山下美紀、若松静美

連絡先：若狭連帯行動ネットワーク

久保 TEL 072-939-5660 dpnmz005@kawachi.zaq.ne.jp

長沢 TEL 072-269-4561 ngsw@oboe.ocn.ne.jp